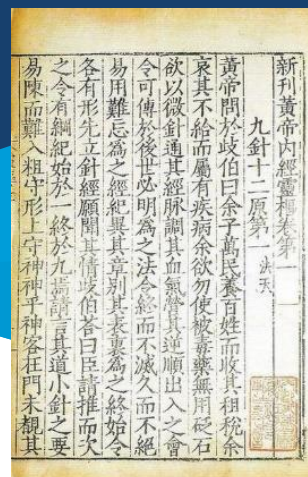


古典セミナー 第一回『靈枢』講義

講師：宮川浩也先生



【日 時】第一回：2021年10月24日（日）14時～16時

※第二回：2021年12月26日、第三回：2022年2月27日 開催予定

【定 員】100名まで 【参加費】無 料

【会 場】※インターネット参加のみのため会場参加はございません。WEB開催（Zoomミーティング）

【参加条件】掌友会会員（卒業生および在校生）であること／掌友会メールアドレス登録済みであること

【セミナーまでに各自で準備するもの】

日本内経医学会作成の『明刊無名氏仿宋本 靈枢』をテキストとして使用します。持っていない方は、下記の内経医学会 HP を確認し事前に購入して下さい。

<https://plaza.umin.ac.jp/~daikei/hanbai.html>

講義概要：

中国医学の古典としては、『素問』『靈枢』（合わせて『黄帝内経』という）が両横綱です。『黄帝内経』を学問にしたのが「内経学」で、中医薬大学では必修科目になっています。その影響を受けて、欧米諸国でも『内経』に強い関心を持っています。日本だけが、「内経学」は必修科目でも、選択科目でもないし、『内経』にも関心が無いのです。世界でいえば、日本は異常なのです。

東京衛生学園の学生が『素問』『靈枢』を持っているのは、日本でいえば異常（特殊）なのですが、世界でいえば正常（当たり前）なのです。

このたび、掌友会の尽力で、『素問』『靈枢』を読んでみようということになりました。他の学校に先駆けた、画期的な取り組みと思います。

令和3年度として、3回講義いたします。『素問』『靈枢』の全体像、核心内容、流派の違いなどを説明いたします。

中国医学に、初期中国医学・中期中国医学・後期中国医学があります。後期中国医学は、現在の中国医学に発展しています。初期中国医学が『素問』『靈枢』なので、読んでみたくなるでしょう。

ご略歴：

1956年：宮城県生まれ。1978年：東京農業大学農学部卒業。1981年：東洋鍼灸専門学校卒業。島田隆司氏に入門。1986年：みやかわ温灸院開業。1993年～：東京衛生学園専門学校非常勤講師。日本内経医学会元会長、日本伝統鍼灸学会元副会長（現相談役）。共編著に『素問・靈枢総索引』（日本内経医学会刊、1993年）、『扁鵲倉公列伝幻雲注の翻字と研究』（北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1996年）、『素問攷注』（日本内経医学会・北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1998年）、『黄帝内経明堂』（北里研究所東洋医学総合研究所医史学研究部刊、1996年）がある。『素問・靈枢総索引』は1994年に第8回中賞受賞（医道の日本社主催）。『黄帝内経明堂』は、1999年に第13回中賞を受賞。